

『イラストで学ぶ人工知能概論』 第1, 2刷正誤表

この度は、標記書籍をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
標記書籍に誤りがありました。訂正し、深くお詫び申し上げます。

ページ数	行数	位置	誤	正
44	16行目		ホールダック 2号にとって	ホイールダック 2号にとって
48	6行目		各プレーヤーは	各プレイヤーは
49	下から 2行目		どのプレーヤーも	どのプレイヤーも
51	10行目		プレーヤー 1	プレイヤー 1
52	下から 10行目		他のプレーヤー	他のプレイヤー
63	下から 9行目	Algo rithm 5.1	その最大値を与える s_t を	その最大値を与える s_{t-1} を
79	10行目		$= \frac{\overbrace{P(A C_j)}^{\text{尤度}} \overbrace{P(C_j)}^{\text{事前確率}}}{\sum_{C_k} P(A C_k)P(C_k)} \quad (6.20)$	$= \frac{\overbrace{P(A C_j)}^{\text{尤度}} \overbrace{P(C_j)}^{\text{事前確率}}}{\sum_k P(A C_k)P(C_k)} \quad (6.20)$
90	7行目		行動形成がなされることをオペラント条件付け (operant conditioning) と呼んでいる。	行動形成がなされることをオペラント条件づけ (operant conditioning) と呼んでいる。
90	13行目 14行目		1950年代からオペラント条件付けの研究のための最も有名な実験装置として用いられている。オペラント条件付けの際に、ある行動の自発頻度が高まることを強化 (reinforcement) と呼ぶ。	1950年代からオペラント条件づけの研究のための最も有名な実験装置として用いられている。オペラント条件づけの際に、ある行動の自発頻度が高まることを強化 (reinforcement) と呼ぶ。
90	下から 2行目		オペラント条件付けのような報酬に基づく学習を数学的に表現しているといえる。	オペラント条件づけのような報酬に基づく学習を数学的に表現しているといえる。
103	23行目		$\pi(s_t, a_t) = P(a_t s_t) \propto \exp(-\beta Q(s_t, a_t)) \quad (7.23)$	$\pi(s_t, a_t) = P(a_t s_t) \propto \exp(\beta Q(s_t, a_t)) \quad (7.23)$
104	10行目		1. オペラント条件付けを数学的にモデル化したものである。	1. オペラント条件づけを数学的にモデル化したものである。
117	下から 1行目		部分観測マルコフ決定過程の過程に基づいて導出せよ。	部分観測マルコフ決定過程の仮定に基づいて導出せよ。
125	2行目		$= \frac{1}{N} \sum_i w_i \delta(s_t, \bar{s}_t)^{(i)} \quad (9.18)$	$= \frac{1}{N} \sum_i w_i \delta(s_t, \bar{s}_t^{(i)}) \quad (9.18)$
135	下から 4行目		$J = \sum_{i=1}^K \sum_{\forall o_i, z_i=j} \ o_i - c_j\ ^2 \quad (10.2)$	$J = \sum_{j=1}^K \sum_{\forall i, z_i=j} \ o_i - c_j\ ^2 \quad (10.2)$
139	下から 7行目		複数のクラスを逐次的に併合するなどして	複数のクラスタを逐次的に併合するなどして
141	下から 1行目		具体的にはデータが高次元空間上で多変量正規分布 (ガウス分布) に従って分布していると仮定して、	データが高次元空間上で分布していると仮定して、

142	4行目			具体的にはデータの分散共分散行列を固有値分解することにより求めることができる。																								
185	下から4行目	(13.5)	$\Leftrightarrow (\neg P \vee (Q \vee R)) \wedge ((\neg(Q \vee R)) \vee P)$	$\Leftrightarrow (\neg P \vee (Q \vee R)) \wedge (\neg(Q \vee R) \vee P)$																								
187	下から1行目	(13.16)	$\Leftrightarrow \forall x_1(\neg P(x_1, f(x_1)) \wedge \neg Q(x_1)) \vee \forall x_4 R(a, x_4)$	$\Rightarrow \forall x_1(\neg P(x_1, f(x_1)) \wedge \neg Q(x_1)) \vee \forall x_4 R(a, x_4)$																								
230	7行目	図	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><td>3. 観測確率</td></tr> <tr><td>0.02 0.02 0.02 0.02</td></tr> <tr><td>0.02 0.02 0.70</td></tr> <tr><td>0.02 0.02 0.70</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><td>4. $G_i \times 10^6$</td></tr> <tr><td>4 20 20 36</td></tr> <tr><td>4 20 1260</td></tr> <tr><td>4 20 1260</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>5. F_i</td></tr> <tr><td>0.00 0.01 0.01 0.01</td></tr> <tr><td>0.00 0.01 0.48</td></tr> <tr><td>0.00 0.01 0.48</td></tr> </table>	3. 観測確率	0.02 0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.70	0.02 0.02 0.70	4. $G_i \times 10^6$	4 20 20 36	4 20 1260	4 20 1260	5. F_i	0.00 0.01 0.01 0.01	0.00 0.01 0.48	0.00 0.01 0.48	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><td>3. 観測確率</td></tr> <tr><td>0.02 0.02 0.02 0.02</td></tr> <tr><td>0.02 0.02 0.70</td></tr> <tr><td>0.02 0.02 0.02</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><td>4. $G_i \times 10^6$</td></tr> <tr><td>4 20 20 36</td></tr> <tr><td>4 20 1260</td></tr> <tr><td>4 20 36</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>5. F_i</td></tr> <tr><td>0.00 0.01 0.01 0.03</td></tr> <tr><td>0.00 0.01 0.88</td></tr> <tr><td>0.00 0.01 0.03</td></tr> </table>	3. 観測確率	0.02 0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.70	0.02 0.02 0.02	4. $G_i \times 10^6$	4 20 20 36	4 20 1260	4 20 36	5. F_i	0.00 0.01 0.01 0.03	0.00 0.01 0.88	0.00 0.01 0.03
3. 観測確率																												
0.02 0.02 0.02 0.02																												
0.02 0.02 0.70																												
0.02 0.02 0.70																												
4. $G_i \times 10^6$																												
4 20 20 36																												
4 20 1260																												
4 20 1260																												
5. F_i																												
0.00 0.01 0.01 0.01																												
0.00 0.01 0.48																												
0.00 0.01 0.48																												
3. 観測確率																												
0.02 0.02 0.02 0.02																												
0.02 0.02 0.70																												
0.02 0.02 0.02																												
4. $G_i \times 10^6$																												
4 20 20 36																												
4 20 1260																												
4 20 36																												
5. F_i																												
0.00 0.01 0.01 0.03																												
0.00 0.01 0.88																												
0.00 0.01 0.03																												
230	下から4行目	④	それぞれの重みは (1/10, 1/10, 1/5, 2/5) であり, リサンプリングされる確率は (1/8, 1/8, 1/4, 1/2) となる。	それぞれの重みは (1/10, 1/5, 2/5, 1/10) であり, リサンプリングされる確率は (1/5, 1/5, 2/5, 0) となる。																								
232	9行目	③	3	③ 1																								
233	図																											
242	3列目5行目		オペラント条件付け 90	オペラント条件づけ 90																								